



お金のことを親子で楽しく学べる
体験型イベントを全国で展開中

金融教育 フェスティバル 開催レポート

これから開催されるのは、1月9日(土)埼玉、
1月16日(土)長崎、2月6日(土)広島。
ぜひご予約を ▶ <http://www.festival2009.jp/>



今年度、金融広報中央委員会が全国10都市で展開している「金融教育フェスティバル」は、親子で楽しみながら金融や経済の基礎を学べる体験型のイベントです。子どもから大人までの幅広い年齢層を対象に、一般の方や学校で金融教育を指導する先生等に向けて、さまざまなプログラムをご用意しています。

平成17年度から毎年、東京で行ってきたこのイベントを、今年は各地の金融広

報委員会と共催し、8月9日(日)の兵庫を皮切りに、沖縄、愛媛、秋田、東京、新潟、愛知で実施しました。いずれの会場も多くの方にご来場いただき、活気あふれるイベントとなりました。

残るは、埼玉、長崎、広島の3会場です。この機会にご参加いただき、改めてお金のことを考えてみませんか？

日米の家庭教育や多重債務問題などさまざまな切り口で語る、「講演会」

日米の家庭での金融教育について語るタレントのダニエル・カール氏や、テレビでおなじみ、テンポのよい語り口が人気の住田裕子弁護士には複数会場でお話しいただきました。また、多重債務問題に詳しい宇都宮健児弁護士には秋田で、日本銀行の白川方明総裁には東京でご講演いただき、多方面から注目を集めました。



ガチャピン&ムックとおかねのことが学ぼう!
お金のことに詳しい“おかね博士”が登場し、ガチャピンやムックと一緒に楽しみながら学びました。おみやげのお小遣い帳、おうちでも続けてくれるかな?



親子のためのおかねの広場:貯金箱作りコーナー
新幹線型か車型かを選び好きな色で塗れば、自分だけの貯金箱が完成。未就学のお子さんも参加でき、多くの親子連れでにぎわいました。



暮らしに役立つ講演会
お金について、楽しく学んだのは子どもたちだけではありません。毎日の暮らしと切っても切れない「お金の話」に、参加者の方々は熱心に耳を傾けていました。

子どもが主役!

仕事体験や貯金箱作りから考える

“おかねのこと”

「親子のためのおかねの広場」には、仕事体験や買い物体験、おかねクイズや貯金箱づくりなど、楽しみながら学べるプログラムをご用意しています。

「中央銀行業務体験」に参加した子どもたちは、コインの選別等に取り組み、お金が世の中に流通していることを学びます。お給料*を受け取ったら、今度はそのお金で「カレー作りゲーム」に挑戦。買い物リストを作って食材を購入します。限られた予算を有効に使うと、子どもたちの表情は真剣そのもの。自分たちの得たお給料から厳選して買い物をする体験から、それぞれ考えを深めてくれたようです。

*模擬貨幣

ガチャピン&ムックと一緒に

お金のことを楽しく勉強

ステージにガチャピンとムックが登場すると、笑顔と拍手で子どもたちが迎えました。お金の役割や大切さ、夢のために貯金をする事、お小遣い帳のつけ方などを学びました。

暮らしに身近なテーマで20講座

「金融教育セミナー」 ※東京会場のみ

当委員会協力団体の講師から生活設計や金融トラブルなどの身近なテーマでお話しいただきました。「預貯金」や「保険」「資産運用」「葬儀」など…。人生に深く関わる話に、参加者の方々は熱心に耳を傾けていました。

金融教育の最前線をレポート

「教員向けセミナー」

学校の先生方や教職を志す大学生等

を対象に、金融教育に造詣の深い先生方から、学習指導要領と金融教育についての講話、実践報告やワークショップを行っていただきました。現場の先生方ならではの鋭い質問もあり、充実した雰囲気の中、実り多いセミナーとなりました。会場からは「今後の授業に生かしたい」という声が聞かれました。

そのほか「資料提供コーナー」では、当委員会および協力団体が発行している金融知識や金融教育に関する刊行物を多数ご提供しています。

最後になりましたが、本イベントの開催をご支援くださいました関係団体の皆様、ご来場いただきました多くの皆様、心から厚く御礼申し上げます。

【参加お申し込み・お問合せ】

<http://www.festival2009.jp/>

金融教育フェスティバル事務局

電話：0120(165)217(平日10時～18時)